



製材作業中の青木国宏代表取締役

商工会には自社の事業を通じて地域に貢献したいと「顔晴る」会員さんが多くいらっしゃいます。今回は、栃木市都賀町にある(有)青木工務店さんの青木国宏代表取締役（以下、代表）にこれまでの歩みや事業にかける想いなどをお伺いしました。

◇はじめに事業の概要をお伺いします

地域に密着した工務店として、父の国次が昭和44（1969）年に創業し、55年が経過しました。現在は私が2代目として、栃木市内を中心に新築注文住宅やリフォームを請け負い、お客様に寄り添いながら様々なご要望にお応えしています。

当社では、私が最初のご相談から、お見積もり、施工と一貫して担当します。お客様、大工、建築設計士の3者で納得がいくまで話し合い「あなたにとってベストな解決方法」を一緒に探し出しましょう。家のことならどんなことでもお気軽にご相談ください。

（次ページへ続く）

有限会社 青木工務店

代表取締役 青木 国宏

住所 栃木市都賀町家中5943

電話 090-5521-1135

CONTENTS

- 顔晴る企業紹介（都賀町商工会） 1・2
- 伴走支援の現場から（那須塩原市商工会） 3
- 商工連通常総会開催 4
- 新会長の紹介 5
- 小規模事業者持続化補助金レポート（小山市おもしろ商工会） ... 6
- 県青連、県女性連総会開催 7
- 関東ブロック商工会女性部交流研修会を開催 7
- 商工会からこんにちは（都賀町商工会） 8

■自分が住む地域で大工をする と、地域や人のために働くこと

代表は、かつては商工会の青年部長を務め、現在は商工会の理事、市消防団の本部分団長、さらには保護司を務めている。中でも保護司の30代での就任は異例の若さだ。また、東日本大震災の際には、青年部の有志といち早く岩手県大槌町に駆けつけ、支援活動を実施、今でも交流が続いているという。今年の能登半島地震でも発生後4日目には被災地に入り、支援物資を届けている。「東日本大震災での経験上、通行制限がかかる事は分かっていった。その前に行くことが重要なんだ」と。また、「人の為に動くことは、生き方に通じると思う」と、強面の雰囲気からは想像できない優しい表情が垣間見える。

■師匠との早すぎる別れ、時間の全てを仕事に集中

代表は工業高校を卒業後、建築設計事務所に務めながら工務店経営に必要な資格取得に励んだ。自社に戻り、初代棟梁である父の元で経験を重ねていた34歳の時、父が亡くなる。全ての仕事を一人で回さなければならず、大変な苦勞をしたという。「大

変だとは言わなかった。お客様がいたから仕事に集中した。でもあの時は本当に時間がなかった」と当時を顧みる。「人生は筋力トレーニングと一緒だよ。日々の苦勞が自分の力になる」と、鍛え上げられた体には、自分への厳しさと強さが宿っている。

■父として、大工として

大工の仕事とは例えるなら、困っているところに手を差し伸べる、お客様の不安を取り除くことだと話す。また、子育てと相通じるとも。代表は3男1女の父であり、ご子息、ご息女はそれぞれのフィールドで夢に向かい奮闘している。「夢や目標に向かえるような環境を整え、背中を押すことが親の役目」との想いから、お客様の生活にとってよりよい環境づくりを提案、創造することが大工の仕事だと



施工した住宅は県産材木造住宅コンクールで奨励賞を受賞した

も。そして「環境が人をつくるんだよ、それは保護司をして強くそう思うようになった」と話す。

■遊び心を持って本気で取り組み

代表は今から16年前、商工会青年部長時代に、自社の方向性を1枚のシートにまとめるという商工会のセミナーに参加している。「あの時に考えたこと、気づいたことを具現化したのさ」と紹介されたスペースは、一見洒落たレストランの様相で、(写真①)さらに、2階にはトレーニングルームが設置されていた。(写真②)

このような空間で打合せをすれば、気軽に、そして本音でお客様のニーズを引き出すことができるのでは、と考えた。そして「家づくりの夢は実現できる」ということを実際に目にしてももらいながらポイントを説明することで、青木工務店の提案力や技術力もすぐに納得してもらうことができるのでは、との想いからだ。「人生と建物には、遊びの要素が必要なんだよ」と代表の笑顔がこぼれた。

■地域と仲間とともに、お客様のために

これからも都賀町に根付いた工務店でありたいという。家1



事務所兼打合せルーム。隣室はお気に入りの車を見渡せるガレージになっている。(写真①)



棟上げに立ち会った業者らも想像できなかった本格的なトレーニングルーム。(写真②)

棟を建てるのに少なくとも12、13の業者が関わる。信用できる職人仲間とともに、地域の需要と経済を支えていくことが、より重要さを増すと話す。大工が不足している深刻な業界事情を県外で修業している長男からも聞いている。地域のために、そして棟梁を継ぐ意志を示してくれている長男のためにも、もうひと顔晴りだ。

主なメリット

手続きなしで高額な窓口負担が不要に!!

マイナ保険証で受診すると、限度額適用認定証がなくても、自己負担限度額を超える医療費の立替払いが不要となります。

(本人が同意した場合のみ)



伴走支援の現場から

那須塩原市

ポポラス植物店

住所 那須塩原市上厚崎488-1
サンハイツスズキ101
TEL 0287(79)9096

那須塩原市商工会は毎年、「創業支援塾」（創業セミナー）を開催し、創業後も随時、経営相談に応じるなど、きめ細やかな支援を行っている。今回は創業支援塾をきっかけに商工会員となった「ポポラス植物店」と桑原主任の支援事例を紹介する。

■創業のきっかけ

店主の奥野さんは園芸科を卒業後、東京や実家のフラワーショップに勤めた。長年勤務するうちに「植物の癒しを感じられる生活スタイルをお客様にご提案したい」という想いが強くなり、お店を持つことを決意した。店舗では、生花、観葉植物をはじめ、ドライフラワー、海外ブランドの一点物の花瓶などを

販売している。

■商工会との出会い

創業にあたり、まずは経営に関する知識や情報を得ようと独学で勉強を始めた。初めてなこともあり行き詰まっていたと感じたとき、ふと「商工会」という言葉が頭に浮かんだ。今まで接点がなかったので少し緊張しながら電話をかけたところ、「創業支援塾」の受講生を募集していますので、参加されてはいかがでしょうか」と提案があり、参加したのが始まりだった。

■創業支援塾の学びを活かして

創業支援塾では全10回のカリキュラムを通して、経営に関する基礎知識を学んだ。また、創業支援塾の講師であった起業した先輩から「店舗探しは地元の不動産屋さんに行った方がよい。ネットにはない情報も把握して

いるから」というアドバイスを実践して、地元の不動産屋さんを訪ねたことが縁となり、人気物件だった現在の店舗を借りることができた。

■商工会による支援

商工会の桑原主任は、創業融資の説明や、課題に応じた専門家派遣などを行った。奥野さんは、「相談する前は、自分で集めた情報の真偽が分からずに困っていました。商工会は、プロの視点で教えてくれるので信頼できました。一人で悩むこともありましたが、桑原さんが一緒に考えてくれたことで、光が指したような気持ちになりました。」と当時を振り返る。

さらに、持続化補助金の申請支援も行い、無事採択されたことでより快適に過ごせるお店に



商工会の桑原主任（左）と店主の奥野宏実さん（右）



雑貨の人気も高く、特に花瓶は県外からもお客様が来店する

■商工会と共に新たな試みへ

奥野さんは「毎週、違うお花を仕入れており、楽しみに来てくれるお客様がいます。『お客様が楽しめる、いつもどおりのお店』を軸にしつつ、新たな試みとしてお花に関する教室の開講を考えています」と明かしてくれた。現在も教室の内容を桑原主任に相談している最中だ。新たな目標の実現へ向けて、今後も商工会は伴走型で支援を続けていく。

健康保険証は2024年12月2日に廃止

医療機関の受診は マイナ保険証で



マイナ 保険証

始まっています！

全国健康保険協会
協会けんぽ

マイナ保険証のメリットの詳細は、右の二次元バーコードからご確認ください。

厚生労働省作成動画 ▶【何が便利になるの？メリット編】





▲薄井正明新会長（那須町）

商工連第63回通常総会

新会長に薄井正明氏（那須町）を選任

5月27日、ホテルニューイタヤにおいて、商工連の第63回通常総会が、福田富一知事、日向野義幸県議会議長をはじめ、多くの来賓を迎えて盛大に開催された。任期満了に伴う役員改選では、第9代会長に那須町の薄井正明会長（商工連副会長、那須町商工会長）が選出された。

冒頭、商工連の福田徳一会長は、「商工連は今後も県内33商工会と共に、組織強化と人材育成に努め、商工会力の再構築を図り、企業支援の強化・充実を目指す」と挨拶した。

総会では、議長に商工連の三室一男理事（都賀町）を選出し、令和5年度事業報告及び収支決算など6議案を慎重審議した結果、すべて原案どおり可決決定された。

■令和5年度の事業総括

以下の5つの重点項目に積極的に取り組んだ。

- 一、商工会組織の支援体制及び組織力強化
- 二、ポストコロナを見据えた中小企業・小規模事業者への伴走型支援の強化



挨拶をする薄井正明新会長（中央）、佐藤金司副会長（高根沢町）、大森順一副会長（小山市おもいがわ）

- 三、商工会の組織力と支援力を活かした販路開拓支援の推進
- 四、中小企業・小規模事業者のリスクマネジメント支援と事業再建支援
- 五、中小企業・小規模企業者の経営環境の整備



議長を務める商工連の三室一男理事（都賀町）

任期満了に伴う役員改選では、第9代会長に商工連の副会長である薄井正明会長（那須町）を選任した。副会長は佐藤金司会長（高根沢町）、大森順一会長（小山市おもいがわ）がそれぞれ選任されるなど計14名が選出された。（下記に紹介）

新役員の任期は、令和9年5月30日までの3年間となる。

理事(新)  越沼 哲士 (湯津上)	理事(新)  郡司 岳尊 (塩谷町)	理事(新)  井戸 道廣 (粟野)	専務理事(再)  青木 剛 (商工連)	副会長(新)  大森 順一 (小山市おもいがわ)	副会長(新)  佐藤 金司 (高根沢町)	会長(新)  薄井 正明 (那須町)
監事(新)  伊藤 邦夫 (藤岡町)	監事(新)  東泉 清壽 (矢板市)	理事(新)  山田 祐子 (県女性連)	理事(再)  小林 信作 (県青連)	理事(再)  三室 一男 (都賀町)	理事(新)  長 光博 (下野市)	理事(新)  手嶋 崇夫 (茂木町)

役員 改選

23 商工会で役員改選 12 商工会で新会長が誕生

野木町	にのみや	うつのみや市
 寺内 浩 てらうち ひろし テラウチ産業(株) (製造業) 平成27年から理事、 平成30年から副会長	 早瀬 一男 はやせ かずお (有)ハヤセ (建設業) 平成15年から理事、 平成30年から副会長	 高橋 栄一 たかはし えいいち (有)総合食品タカハシ (食品卸売業) 平成6年から河内商工会 理事、平成15年から河内 商工会副会長、平成23年 からうつのみや市商工会 理事
塩谷町	岩舟町	大平町
 郡司 岳尊 ぐんじ たけし 郡司工業(株) (製造業) 平成9年から理事、 平成15年から副会長	 小倉 久緒 おぐら ひさお やまこ産業(株) (油脂製品製造業) 平成21年から理事、 平成27年から副会長	 藤崎 英治 ふじさき えいじ (株)藤製作所 (金属加工業) 平成18年から理事、 平成24年から副会長
那須烏山	喜連川	氏家
 中村 恵之 なかむら よしのぶ (株)アヤラ産業 (製造業) 平成20年から理事、 令和3年から副会長	 塚本 正道 つかもと まさみち (株)塚本ウエルフエア (高齢者福祉業) 平成27年から理事	 池田 章二 いけだ しょうじ 池田産業(有) (建設資材卸売業) 平成30年から理事
西那須野	那須塩原市	黒羽
 大倉 太喜生 おおくら たきお テラス(理・美容業) (理・美容業) 平成27年から理事、 平成30年から副会長	 人見 和夫 ひとみ かずお (株)愛・ジャパン (損害保険業) 平成27年から理事、 平成30年から副会長	 郡司 昌尚 ぐんじ まさなお (株)エーエム企画 (新聞小売業) 平成30年から副会長

5月16日から24日にかけて、県内33商工会では通常総(代)会が開催され、新たに12人の新会長が誕生した。

福田前会長の功績に感謝



商工連理事会の開会前、薄井会長から感謝状が贈呈された

福田前会長は平成27年10月から第8代商工連会長として、8年8か月の永きにわたり重責を務められた。任期中には、県・振興条例の成立、支援室の新設、全国に先駆けた「発達計画」の県内全商工会大臣認定等を主導した。令和元年は台風被害、その後はコロナ禍による厳しい経営環境のなか、県内の商工会の成長と会員企業の発展のために尽力された。

また、関東ブロックの商工連絡協議会の会長、全国連の理事や栃木県火災共済協同組合の理事長にも就任し、商工会組織の発展のために県を超えて活躍された。

薄井会長が知事と県議会議長に就任挨拶



薄井会長と福田富一知事

6月7日、薄井会長は県庁を訪問。福田富一知事と日向野義幸県議会議長に就任の挨拶を行った。



日向野義幸県議会議長と薄井会長

小山市おもいがわ

手打そば 小川屋

住所 小山市乙女2-25-16
電話 0285-45-0077

■お店の概要について

今年で創業94年目を迎える「手打ちそば小川屋」は、三代目の小川新一さんと、息子であり四代目の諒さんが伝統の味を守り続けている。良質なそば粉を独自にブレンドした細麺のそばは味わい深く、常連客からは「やっぱりここが一番だよ」と嬉しい言葉をかけて頂いている。

■補助金活用のきっかけ

2年前に店舗裏の敷地に駐車場を整備したが、お客様が気づかずに通り過ぎてしまっていることが悩みの種だった。



趣がある佇まいの外観

■補助事業の内容

店舗は交差点の角に位置しているため、店舗前と、南北、東西の両方向から見やすい位置の計3か所に看板が必要と考えた。しかし、図案のイメージがまとまらず、再び、石崎主任に相談した。石崎主任は「走行中の車から見ることを想像し、伝えたいことは何か、分かりやすいものを作成しましょう」とアドバイス。家族で話し合いを重ね、料理の写真は自分達で撮影したものから厳選し、特にお勧めしたい3種類のメニューに一言を添えて、それぞれの看板に大きく掲載することにした。

■補助金を活用した効果

信号待ちなどの際に、看板を見て来店する新規のお客様

が明らかに増加した。注文の際に「看板と同じメニューを頼みたいから、もう一度見てくるよ」というお客様がいたことが印象的だったという。常連客からも「駐車場の場所が分かりやすくなって良かった」と好評で、課題を解決することができた。

■補助金を活用していかがでしたか

新一さんは「活用できたのは石崎さんのおかげです。看板作成に大きな費用をかけることはできなかったのもとても助かりました」と話す。

石崎主任は「問いかけるようなかたちでアドバイスさせて頂きました。忙しい中でも熟考してくださり、翌日には



3か所の看板にはそれぞれ美味しそうな料理を掲載。キャッチーな一言も印象的。

■今後の展望

新一さんと奥様の茂子さんは、「常連さんをはじめ、県外からも家族連れのお客様がいらつしゃいます。長年通ってくださることでお客様の成長等を感じられることは、商いをする者として喜びを感じます。今後は、四代目の意思を尊重しながら、美味しいそばや定食があつて、家族みんなが楽しめる“そんなお店で有り続けたいと思います”とこやかに語ってくれた。



左から商工会の石崎主任、店主の新一さん、奥様の茂子さん

商工会の福祉共済 熱中症の補償が拡大しました

令和5年11月から、福祉共済の「けが」の補償・シニア傷害プランにも「**熱中症特約**」が自動付帯になりました。

今夏も猛暑が予想され、熱中症の発症リスクも高まります。お申込み、お問い合わせはご加入の商工会にご相談ください。

熱中症とは

急激かつ外来による日射または熱射により身体に障害を被ったことをいいます

※保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いしない主な場合については、後記「補償のあらまし」をご確認ください。

●例えば、このような熱中症になったとき



猛暑の中、工事現場作業中に熱中症になってしまった。



猛暑の中、スポーツをしていたら熱中症になってしまった。

県青連第57回通常総会



挨拶をする小林県青連会長

県青連は5月9日、第57回通常総会をホテルニューイタヤで開催した。

議長に佐治貴大部長（塩谷町）を選出し、令和6年度事業計画や役員の補充選任など4議案が慎重に審議され全て原案どおり承認された。今年度も経営者としての自立と自律を目標し、各種事業を実施していく。

役員の補充選任では、理事に鈴木晴久部長（塩谷町）、監事に田所正部長（小山市おもいがわ）がそれぞれ選任された。

新会長に山田祐子氏（うつのみや市）



挨拶をする山田祐子会長（右端）と副会長3名

5月10日、県女性連は第59回通常総会をホテル東日本宇都宮で開催した。

総会では、議長に大島小織部長（那須塩原市）を選出し、令和6年度の事業計画や、任期満了に伴う役員の選任など4議案が慎重に審議され全て原案どおり承認された。

任期満了に伴う役員の選任では、山田祐子部長（うつのみや市）が新会長に選任されたほか、副会長に大関啓子部長（石橋）、青木彩季部長（西方）、藤田峰子部長（那珂川町）が選任され、新たな執行部体制が誕生した。

県女性連第59回通常総会

関東ブロック商工会女性部交流研修会を栃木県で開催



開会挨拶をする山田祐子県女性連会長

7月9日、関東ブロック商工会女性部交流研修会inとちぎが宇都宮市文化会館で開催され、1都10県から女性部員約1,000名が参加した。

オープニングでは三味線奏者の棚瀬敬太氏（那須塩原市出身）が、迫力ある演奏を披露した。開会後の主張発表大会では、各都県代表の11名が出場。本県からは菅野安子部長（高根沢町）が「女性部活動と地域振興・まちづくり」商工会女性部が目指す住みよいまちづくり」と題して発表を行った。参加者たちは各都県の発表を聞きながらメモを取ったりするなど、熱心な様子だった。

続く基調講演では、再来年放送予定の大河ドラマ「豊臣兄弟！」の脚本を手掛ける八津弘幸氏（栃木市出身）が「脚本家流・人を惹きつける



福田富一知事により来賓挨拶を頂く

あの手この手」商売に活かすヒント」と題して講演を行った。ユーモアを交えたトークにより、会場は大いに沸き立った。

また、会場では、県内会員事業者による物産展の開催やキッチンカーでの商品販売を行い、県外の女性部員にも大変好評で実りの多い大会となった。



1都10県の女性部員が集結



県内各ブロックから名産を集めて物産展を同時開催した



「つかみが大切」と金色の衣装を用意し、講演をして頂いた八津弘幸氏（写真右）



本県を代表して主張発表を行った菅野安子部長（高根沢町）



商工会の記帳システム「MA1商工会エディション」
クラウド会計ならではの新しい機能も多数追加！

「MA1 商工会エディション」には、こんな特徴があります

誰でも迷わずに
かんたん操作でスタート

会計や簿記に
詳しくなくてもかんたん

元帳などをミス無く集計し、
すばやく確認できます

製品Q & Aや法令改正情報を
タイムリーにお届け

確定申告が簡単

電子帳簿保存法に対応

電子申告も対応

法令改正があっても
あんしん

充実したサポート体制



他社製品からの乗換えもスムーズです **無償**

今お使いのソフトの科目・部門・辞書・仕訳・残高情報を元に新規会計データを作成することができます。他社製品からの移行が格段に楽になる「データコンバートサービス」もあります。お近くの商工会までお問い合わせください。

※電子帳簿保存法の修正履歴がある場合、修正履歴はコンバートできません。

導入検討や申込みにつきましては、ご加入の商工会にお問い合わせください

当商工会では、DX変革に対応し、ITを活用した企業情報発信・需要開拓等の支援に注力しています。「ココニアルミリヨク、ツガ」をテーマとした、「ココツガ」というHPを運営しており、商工会の情報はもちろん、都賀町の企業紹介など様々な情報を発信しています。当商工会独自の取り組みとして、ココツガではユーチューブによる動画配信もしており、リポーターが町や企業等の魅力を紹介しています。

また、昨年に引き続き、市や多くの店舗にご協力を頂いて、販促支援イベント「ドッカンと100万円！」の開

商工会をもっと身近に！
各地の商工会をご紹介します



▲左から、
前列：三室会長、早川主事補、相川主任
後列：北原局長、徳安臨時職員、森主任、秋澤主任
※等身大パネル紹介
「ココツガ」ユーリャレポーター

商工会からこんにちは
都賀町商工会



「ココツガ」
QRコード

商工会では新規会員を
募集しています

是非、
お仲間をご紹介ください。
詳しくは、最寄りの商工会まで
ご連絡ください。

催を予定しています。
今後、会員事業所の強み
と発想力、想像力を刺激し、
もって企業の繁栄・発展に向
けての支援を推進していきま
す。